

みみタロウ

日本語版 ☆ 142号 2022年1月

滋賀県国際協会 ボランティアグループ「みみタロウ」

住所 : 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海 2F

Tel : 077-523-5646

E-mail : mimitaro@s-i-a.or.jp

URL : https://www.s-i-a.or.jp

f : https://www.facebook.com/siabiwako



一緒に笑顔になりましょう！

今回みみタロウは、スーパーマーケットでお勤めのデジ ビッキ アスモロウティさん
(近江八幡市) にお話を伺いました。



日本人の夫と結婚し、
インドネシアから滋賀県にきて
13年。来日当初はゴミを捨て
るのも窓から外を覗いてからお
そるおそる、人に挨拶するのも
返事してもらえないのか不安で
一杯でした。近所に住む義父母

に日本の生活について沢山教えてもらい、日本語
教室で言葉も勉強して、今は地元で溶け込んで暮
らしています。

少し日本の暮らしに落ち着いてからは、家にいる
ばかりでは日本語もうまくなならない、社会から取
り残されるような気がして、外に出て何か好きな
仕事をしたいとなりました。そんな時、「外国人もOK」
と書かれたパンケーキ屋のアルバイト募集を見つけ、
初めて日本で働き始めました。それは小さな店舗
で一人でパンケーキを作り販売する仕事で、全く
初めての事ばかりでしたが、別のシフトの店員が
手順を書いてくれて、接客用の日本語も準備して2
年間務めました。

その後、近くのスーパーでの仕事が見つかり、そ
こでレジを担当して4年になります。レジ打ちの
仕事も初めてでしたが、職場の人々に全て教えてもら
い、今も何かあればすぐに飛んできてサポートし
てもらっています。商品名が分からない時などは、
お客さんからも「これはデコボンよ」と教えてもら
ったりします。こうして周りの人々に支えてもらい
ながら私も職場の主力メンバーになれ、帰国中
には「みんなが待ってるから早く帰ってきてね」と電話
をいただくこともあります。私の特技はなんといっ
ても笑顔です。この笑顔のおかげか、職場から「名物
店員賞」もいただきましたよ。優しい職場の人々や
お客さんに囲まれ、この仕事に出会えて本当に良
かったです。

私たちの子どもは今小学5年生です。今年私は
学校のPTAの役員をしています。日本の学校のこ

とをよく知るにはやってみるのが一番と思い、
立候補しました。日本語はあまり書けませんが、そ
こは夫にサポートを頼み、身体を動かすことなら
私にもできると思いました。PTAでは、「日本の
学校はこうなんだ、こんな問題もあるんだ」など色々
勉強させてもらっています。

最近、近所にも外国人が増え、日本人も外国人も
互い少しずつ慣れてきたように感じています。けれ
ど実際には、外国人に声をかける日本人はまだあ
まり多くいません。また外国人も同国人同士の付き合
いの方が楽なので、ついそこに落ち着いてしまって
日本人の友達がいらない人が多いのですが、お互いそ
れでいいのかなと思います。私の場合は、まず職場
や近所の人など縁があって一緒にいる人々と沢山お
しゃべりして仲良くしたいです。そしてスーパーの
お客さんにもレジで少し笑顔になっていただき、
外国人の方にも私がそこにいることで少しほっと
していただけたら嬉しいです。

新しい体験をすると、多くの学びがあります。
スーパーでは、合理的な販売方法やきちんとした
商品管理など勉強することが沢山あります。でも
時々、「こんなに細かくなくてもいいのにな」と思う
こともあります。賞味期限間近や少しへこんでいる
缶などの廃棄される食品を見ると、祖国の食べ物に
困っている人々の事をつい思い出してしまいます。
学校では、教科の勉強だけでなく、給食や運動会、
自然とふれあう田植え体験や伝統文化を大切にする
様々な活動があり、子ども達も自分で荷物を持って
通学していてとても感じます。こんな日本での
様々な学びや経験を活かして、いつか祖国で貧しい
子ども達のために小さな学校を作ることが私たち
夫婦の大きな夢なんです。

「お互い日本人、外国人などと思わず、通じるまで
話し合おう」とは夫との約束事です。皆さんも、
外国人だからとあきらめないで、好きなことに
チャレンジしてくださいね。